

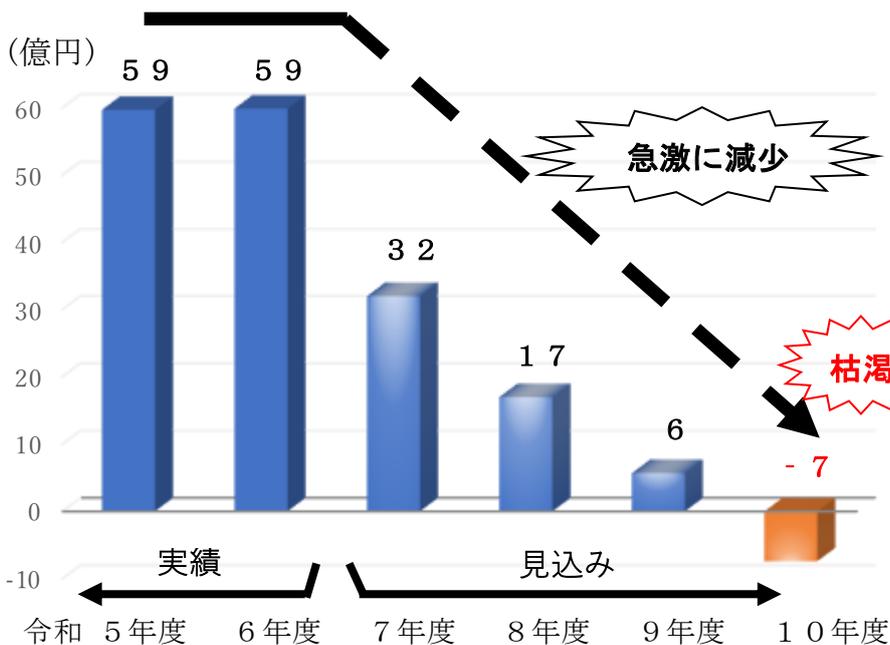
財政非常事態宣言

碧南市は、これまで高い財政力を活かし、多くの公共施設をはじめとした、市民負担を極力抑えた質の高いサービスを提供してきました。

しかし、近年の物価高騰、人件費上昇による経費の増加、公共施設の老朽化に伴う修繕費の増加、市民病院の経営悪化に伴う資金投入の大幅な増加により、市の財政調整基金（貯金）の残高が急激に減少しています。

また、令和8年度以降はアメリカの関税政策の影響により、法人市民税の大幅な減収が予想されることから、しばらくの間、さらに厳しい財政状況が続くことを想定しています。

財政調整基金残高（年度末）



財政調整基金とは

一般的には市の貯金です。財源に余裕のある年度に積み立てを行い、税収減などによって収入が不足したり、臨時的に多額の経費の支出がある年度に取り崩しを行うことにより、年度によって生じる収支の不均衡を調整します。

このような状況にあっても、持続可能な市民サービスを継続するため、「財政非常事態宣言」を発出し、全庁一丸となって、収入の確保及び支出の抑制に取り組む緊急行財政対策を実施します。

市民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

令和7年9月24日 碧南市長 小池 友妃子

緊急行財政対策

収入の確保及び支出の抑制に向けて、標準的な市民負担やサービス水準で事業を実施すべく、各事業の見直しを行います。

◎ 目標

令和10年度末の財政調整基金（貯金）の残高20億円以上の確保

◎ 今後、重点的に検討していくこと

① 市民病院の経営改善

医師数の精査、不採算診療科の在り方や夜間救急体制の制限の検討

② 財源の確保

国や県の補助金、企業版ふるさと納税の更なる確保

③ 標準的な市民負担への見直し

使用料、市独自の無料施策、都市計画税の見直し

④ 公共施設の在り方

同一目的施設の廃止・休止、大規模修繕の一部凍結、市有財産の有効活用

⑤ 事務事業等の見直し

事業等の廃止・休止・縮小

⑥ 職員配置の見直し

緊急行財政対策の推進や市役所等の開庁時間変更に伴う市職員の配置見直し

1 碧南市の財政状況について

○令和5年度決算愛知県市町村財政資料集より

<県下での状況>

県下の市民1人当たりの経費を比較

歳出総計

一人あたり経費	順位 (37市)	県下市平均経費
460千円	7位	402千円

高い方から

- ①田原市 ②蒲郡市 ③新城市 ④東海市 ⑤豊田市 ⑥常滑市
 ⑦碧南市 ⑧みよし市 ⑨清須市 ⑩愛西市

 ⑪刈谷市 ⑫西尾市 ⑬高浜市 ⑭安城市 ⑮知立市

○衛生費－保健衛生費 (予防接種等の健康対策、市民病院の運営費用など)

一人あたり経費	順位 (37市)	県下市平均経費
74千円	1位	42千円

高い方から

- ①碧南市 ②新城市 ③津島市 ④みよし市 ⑤豊川市 ⑥蒲郡市
 ⑦西尾市 ⑧東海市 ⑨岡崎市 ⑩知多市

 ⑭高浜市 ⑮刈谷市 ⑯安城市 ⑰知立市

○教育費－社会教育費 (教育の中でも文化、図書館に関する費用など)

一人あたり経費	順位 (37市)	県下市平均経費
18千円	2位	10千円

高い方から

- ①豊田市 ②碧南市 ③田原市 ④東海市 ⑤小牧市 ⑥豊橋市
 ⑦大府市 ⑧長久手市 ⑨清須市 ⑩みよし市

 ⑪安城市 ⑫刈谷市 ⑬西尾市 ⑭高浜市 ⑮知立市

○衛生費—清掃費 (ごみ処理に関する費用など)

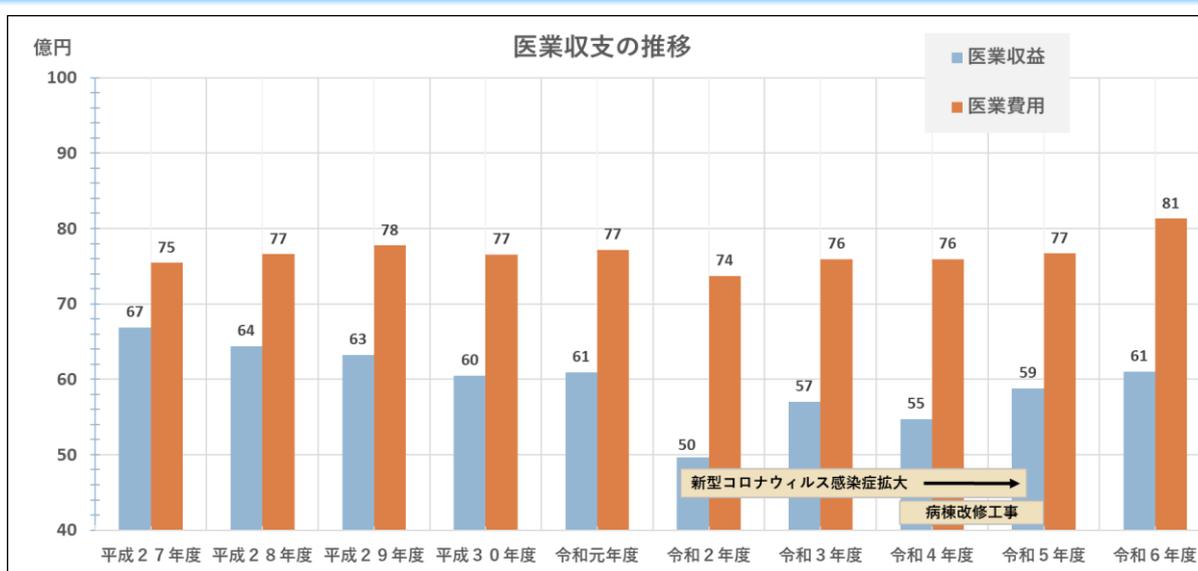
一人あたり経費	順位 (37市)	県下市平均経費
24千円	4位	18千円

高い方から

- ①蒲郡市 ②知多市 ③田原市 ④碧南市 ⑤春日井市 ⑥常滑市
 ⑦東海市 ⑧みよし市 ⑨新城市 ⑩高浜市

 ⑰安城市 ⑱西尾市 ⑲知立市 ⑳刈谷市

2 碧南市民病院の現状について



医業収益

- ・令和2年度新型コロナウイルス感染症、その後の病棟改修の影響で、収益は落ち込む
- ・長年に渡る診療報酬の抑制に加えて、新型コロナウイルス感染症関連補助金の廃止に伴う収益の減少
- ・病棟改修後は患者数も徐々に増え、回復基調

医業費用

- ・医薬品費、診療材料費、委託は物価高騰の影響を受けいずれも増加傾向
- ・特に給与費は人事院勧告の影響を受けて令和5年度以降大きく増加し、令和6年度決算での医業収益対給与費の比率は75.9%

→医業収益の回復以上に、給与費の上昇や物価高騰の影響を強く受けている